

松くい虫被害を どう食い止めるか



多田 勉 議員
(清風会)

処理予定である。

問 森林との関わりなくして、当市の市民生活の安定と向上は図れない。被害木の利用促進など具体策を示すべきではないか。

答 防除員の巡回強化と、遠野地方森林組合が実施する松くい虫感染源クリーンアップ事業で対応する。今後は、被害木の活用策が課題である。

問 「遠野市木質系バイオマス活用推進計画」では、バイオマスエネルギーの活用体制を備えるべきと提言しているが、この提言実現の考えはないのか。

答 アカマツや、杉の間伐材の活用は林業として雇用

一問一答
方式

る。また、50 Bq/kg超のホダ木も市が処分する。対象生産者23名のホダ木約九万七千本を収集し、破砕等中間処理を行い堆肥化する。

問 それらを踏まえ、今後の生産継続への具体的支援策は。

答 市有林から原木を安価で供給する。市内生産者から取りまとめた原木本数は、昨年の六千本に対して今年度は千五百本と少ない状況。原発事故による先行き不透明感により、新たな植菌を見合わせる生産者が多い。

問 放射能被害対策のための機動的予算五千万円を、生産継続のための環境づくりに活用すべきではないか。

答 原発事故によつて生産者は甚大な傷を負った。25年産原木しいたけからの出荷再開を目指すとともに、数年後の収穫に向けて早急に取り組まなければならない。原木購入や種駒購入への助成を行い、遠野産原木しいたけが途絶えないように生産継続後押しする。



松くい虫被害発生仕組み

しいたけ生産の継続に 積極的支援を

※Bq=ベクレル…放射性物質が放射線を出す能力を表す単位